

□講義科目（専門科目）

科目名	スーパービジョン論	2単位
担当者	山口 みほ・大谷 京子	
テーマ	ソーシャルワーク・スーパービジョンの理解と実践への応用	
科目のねらい	<p><キーワード> ソーシャルワーク・スーパービジョン、個人スーパービジョン、グループスーパービジョン、スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係性、スーパービジョンの倫理</p> <p><内容の要約> ①ソーシャルワーク・スーパービジョンについての基礎的理解を図る。スーパービジョンの教育的機能・支持的機能・管理的機能の具体的な展開について、実践的に学ぶ。 ②所属組織におけるソーシャルワーク専門職としての在り方を考える。 ③後進養成教育の過程におけるスーパービジョンの援助関係の特質や具体的な援助技術について明確化を図る。</p> <p><学習目標> ・ソーシャルワーク・スーパービジョンの理解を図り、自らの教育体験や現場体験を内省的に考察し、言語化することができる。 ・専門職としての後進育成に関する、新人研修・実習教育プログラム等の具体的な計画やマネジメントを遂行できる。</p>	
授業の進め方	<p>①内外の理論の学習と実践的なスーパービジョンの体験学習を有機的に組み合わせる。ソーシャルワーク・スーパービジョンの歴史的背景・倫理・諸過程・諸機能・援助関係・多面的効果等に関し、基礎的な理解を図る。積極的な自己学習と講義時の討議への活発な参加が期待される。 ②体験学習の方法として、ロールプレイやグループディスカッション等を豊富に活用する。スーパービジョンの理論と実践の統合への基礎的理解、内省的考察や気づきを導く方法への理解を深める。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 スーパービジョンに関する理論 第3回 指導的立場の役割についての困難とスーパービジョンによる対処 第4回 スーパービジョンのセッション事例 第5回 スーパービジョンで活用されるスキル 第6回 新米スーパーバイザーが直面する困難とその対処 第7回 スーパーバイザーとしてスタートを切り、セッションを続けるための工夫 第8回 個別スーパービジョンの実践的理解（ロールプレイと振り返り） 第9回 個別スーパービジョンの実践的理解（ロールプレイと振り返り） 第10回 グループスーパービジョンの実践的理解（ロールプレイと振り返り） 第11回 グループスーパービジョンの実践的理解（ロールプレイと振り返り） 第12回 ナラティブの視点から『あたかも』事例検討会 第13回 ナラティブの視点から『あたかも』事例検討会 第14回 個別スーパービジョンの演習 第15回 全体の総括・まとめ</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>テキストにはあらかじめ目を通して、ソーシャルワークスーパービジョンについての基礎的理解をおさえておくこと。 実践レポートについて：本科目で実施した講義と演習を基に、受講者それぞれの現場でスーパービジョンを試行していただき、その内容について報告してください。（40文字×40行で1600字以内）</p>	
本科目の 関連科目		
テキスト	大谷京子・山口みほ編著（2019）『スーパービジョンのはじめかた：これからバイザーになる人に必要なスキル』ミネルヴァ書房。	
参考文献	アルフレッド・カデュージン（2016）『スーパービジョン イン ソーシャルワーク 第5版』中央法規出版。 一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟（2015）『ソーシャルワーク・スーパービジョン論』中央法規出版。	
成績評価方法 と基準	ディスカッションへの参加度（40%）、実践報告レポート（60%）の方法で評価をおこない、全体で60%以上を合格とする。	